

愛知県立芸術大学
ピアノコース
特別講座

ホアキン・アチュカロ *Joaquín Achúcarro*

公開レッスン&ソロコンサート

2022年7月5日（火）18:00～

愛知県立芸術大学 奏楽堂



Photo: Jean Baptiste Millot

ホアキン・アチュカロ(ピアノ) **Joaquín Achúcarro, Piano**

現代スペイン音楽界を代表するピアニスト。スペイン・バスクのビルバオに生まれ、早くからスペイン、フランス、イタリア、スイスなどの国際コンクールで数々の賞を獲得。1959年に英国で行われたリヴァプール国際コンクールでの優勝以降、世界各地の主要コンサートホールで演奏を続けてきた。これまでに、ベルリン・フィル、ベルリン・ドイツ響、ロンドン響、ロンドン・フィル、BBC 響、フランス国立管、ミラノ・スカラ座管、ニューヨーク・フィル、シカゴ響、アバド、シャイー、デイヴィス、メータ、ラトル、小澤征爾らと共演。近年も演奏活動は旺盛で、2017年1月にはナポリのサン・カルロ劇場において、ファビオ・ルイージの指揮でラヴェルの〈ピアノ協奏曲(ト長調)〉を披露。2021年夏にはヴェルビエ音楽祭のステージにも登場した。録音も多く、ロドリゴのピアノ協奏曲を編曲・演奏し、ソニーよりリリースしているほか、同じくソニーよりファリャ、アルベニスなどスペイン作品を集めた2つの録音が再販されている。2018年には *La Dolce Volta* から〈ショパン:24の前奏曲/舟歌〉がリリースされた。映像では、サイモン・ラトル指揮、ベルリン・フィルの演奏でファリャの〈スペイン庭の夜〉を収めたDVD“*ファリャ&フレンズ*”がある。2000年、その卓越した芸術上の功績が認められ「平和のためのユネスコ・アーティスト」に選出。2003年、当時のスペイン国王フアン・カルロス1世より国家功労十字勲章を授与された。1989年8月より、米国ダラスにある南メソジスト大学の名誉教授。2018年のジュネーヴ国際音楽コンクールピアノ部門ほか多くのコンクールで審査委員長を務めている。